



～冬が目の前ですね～

ぽかぽか陽気の秋空が広がる日、まるで冬を思わせる朝晩の冷え込み。少し遅めの季節の変わり目ですね、みなさん体調いかがでしょう。

保育園では鼻水や咳のお子さまが増えています。体調管理に気を付けて、戸外活動を楽しみましょう！

○もしインフルエンザにかかったら…○

例	発症日	発症後5日間（出席停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後1日目に解熱した場合							登園OK		
発症後2日目に解熱した場合							登園OK		
発症後3日目に解熱した場合								登園OK	
発症後4日目に解熱した場合									登園OK

※インフルエンザ罹患後の登園早見表

インフルエンザに罹患した4場合、表（※）のように登園停止期間が設けられます。これは、受診後に医師の診断後はっきりわかるものです。最低でも6日間の出席停止となりますので、ご協力お願いいたします。また、当園には医師の登園許可証が必要です。

園医健診のご報告

10月28日（木曜日）、園医健診を行いました。両クラスとも、鼻水が多いお子様が多く、中耳炎が心配になりました。鼻水は2週間続けば耳鼻科への受診をお勧めしています。今月は中耳炎についてまとめましたので、参考までにご覧ください。

また、これから冬場にかけて空気が乾燥した季節になります。肌の乾燥が目立つ子は、スキンケアは夜入浴後と朝起きてすぐ、保湿剤をしっかりと肌に塗り込むようにすると皮膚のバリア効果が高まると言われています。



～中耳炎のお話～

中耳炎は、鼓膜の内側にばい菌が入る病気です。6ヶ月から3歳頃までは繰り返しやすいと言われています。これは、子どもの耳の構造が理由となるため、小学校の低学年程度までの成長に伴って構造が成熟し、かかりにくくなっていきます。



●中耳炎ってどんな症状？

1、急性中耳炎

耳の痛み、耳垂れ、熱、不機嫌、夜泣き、耳を触るなどがあります。鼻水を伴う風邪の治りかけや、治った後に中耳炎を発症しやすいといわれます。

2、しん出性中耳炎

自覚症状がほとんどありません。熱も痛みも無く、「聞こえ」になんとか違和感を覚える程度なので、子どもはサインが出にくいのが特徴です。

●どの位でよくなるの？

急性中耳炎は1ヶ月ほどかけて完治する場合がほとんどです。定期的な耳鼻科通院、内服薬で期間はまちまち。中耳炎の経過中に、しん出性中耳炎に移行した場合は完治までに時間がかかることがあります。

急性中耳炎を放置すると、鼓膜が敗れることがあります。また、完治せずしん出性中耳炎になり、耳が聞こえづらいことなどの症状が続く、言葉の発達に遅れが出る場合があります。

中耳炎は、耳鼻科に通いお薬を飲んで、しっかり治るまで見届けることが必要ですね！

※肺炎球菌の予防接種は、中耳炎予防に効果があるといわれます。予防接種を受けましょう！